



テストお疲れさまでした！！

2学期期末テストと実力テストが終わりました。テストが立て続けにあり、このテスト期間は特に勉強で忙しかったのではないのでしょうか。みなさんはしっかりと、今まで勉強したことをテストで発揮することができたでしょうか。一人ひとり振り返ってみてください。前にもお伝えしましたが、テストは終わった後の結果を踏まえて振り返ることが大切です。それぞれ力を発揮できた所や前回より出来ていたことに加え、勉強していたことがあまり定着していなかった分野などを自己分析してみましょう。最後の実力テストが1月にあるので、ここで終わりではありません。自己分析した苦手分野や、あまり定着していなかった分野を改善できるように次に向けて対策をし、継続的に勉強に取り組むようにしましょう。近頃は寒さも本格化し、冬の季節となってきました。テストが続いたために少し気が緩んでしまいがちですが、そんな時に体調を崩しやすくなります。塾などで夜に外出している人も多いと思います。夜はかなり冷え込み、寒さも厳しくなっています。インフルエンザなどもまだまだ流行っているので、体調管理は徹底するようにしましょう。

また、来週の12日はみなさん何の日か知っていますか？12月12日は「いい字1字」という語呂合わせから「漢字の日」といわれています。これは1995年に制定され、漢字に対する関心を深めてもらい、意義を学ぶ機会を創り出すという思いが込められた日です。さらには毎年自分にとって良い字をひとつは覚えてほしいという願いも込められた記念日ともいわれています。日本ならではの繊細な意味を持つたくさんの漢字。その漢字を通じて日本文化への認識をみんなで深めていくために創られたのです。さて、みなさんは今年を漢字1字で表現すると何でしょうか。昨年は「戦」という文字でした。ウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射などによる「戦」争や感染症や物価高によるものとの「戦」いを表していたようです。この漢字は、毎年12日当日に全国から漢字を募集し、最も多かった漢字を「今年の漢字1字」として決定します。毎年、京都府の清水寺でこの「今年の漢字1字」が発表され、その漢字を特別な和紙に書き、それを奉納する儀式がおこなわれます。この儀式を通して漢字を奉納することによって、今年1年の様々な出来事を同時に清めることができ、新年が明るい年になるようにという思いが込められているようです。みなさんもこの1年を振り返ると色々な出来事があったと思います。3年生になり、全てにおいて「中学校最後の行事」とつくようになりました。そんな最後の行事を、この約3年間過ごしてきた40期生の仲間とともに協力し、創り上げてきてどうだったのでしょうか？またそれとは逆に、受験に向けての勉強が本格的に始まるのも3年生ですね。そんなたくさんの仲間との思い出や自分自身が頑張ったことや挑戦したことなどを振り返り、今年の漢字1字を考えてみませんか。みんながどんな漢字を選ぶのかとても楽しみです。ぜひ先生たちに教えてくださいね。

さて、前回の学年通信に引き続き、文化祭の振り返りを一部ご紹介させていただきます。たくさんの振り返りを読む中で、中学校最後の行事がみんなにとってとても思い出深いものになったんだなと感じました。とてもよかったです。



「四〇期生で良かったJUN」

私は中学校生活最後の文化祭がこの四〇期生一五〇人のメンバーで良かったなとあらためて思いました。理由は2つあります。

1つ目は、本番までの準備が良かったことです。私は初め、役者をやるうと思っただけに役者のメンバーが誰なのかという不安でいっぱいだったけど、練習をつみかさねていくうちに楽しくて、喋ったことがあまりなかった人とも仲良くなれました。なので、このメンバーで良かったなと思いました。

2つ目は、劇が成功したことです。これも1つ目の理由と同じで活動し初めはとても不安でいっぱいでした。失敗もたくさんありました。だけど、体育館や教室での練習をかさねていくにつれ、どんどん上達していききました。文化祭前日練習でグダグダだったこともあったけど、いざ本番やってみると前日失敗していたことも成功に終わって良かったです。残りの学校生活も楽しみたいと思います。



「文化祭」

私は今年の文化祭も楽しく過ごせました。まずは美術部や家庭科部、自分達生徒の作品はどれもすくなくて、見ているのが楽しかったです。

吹奏楽部の演奏はきれいな音色で、迫力がすくなくて感動しました。次に学年ごとの舞台発表はどれも強く印象に残っています。一年生のトモロは少ない人数だったけど、つっこみの子がおもしろくすごいなと思いました。二年生の音彩は、歌にリタ芸に踊り、盛りだくさんで楽しかったです。みんなで一つのものを造っている感じがすくなくて思いました。三年生の劇は、文化委員・代議員・有志の人達の脚本や背景、衣装などどれもこだわってつくっててすごいものになったなと思いました。自分は背景を担当して、失敗もたくさんあって終わるの心配も多かったけど、本番で自分達がつくった背景を見て、頑張ったよかったです。

もう行事は終わってしまっただけで、これからも様々なことを頑張ります。



「最高の文化祭」

この中学校生活最後の文化祭が、楽しくて最高の文化祭になりました。一昨年と昨年度では、コロナの影響であまり大規模に行うことが出来ませんでしたが、今年はコロナが緩和されたので、一・二年生も楽しく行くことが出来たと思います。

劇での担当は小道具で、役者を引き立たせるように、工夫もたくさんしました。実際の大きさよりも大きく見せられるように作ったり、すぐ壊れないように強度も考えて作りました。しかし、私たち小道具や大道具は劇に出ることはありません。でも役者と一緒に小道具と劇にできることができて良かったです。

この文化祭を通して、みんなで何かを作り上げる楽しさや達成感を得ることができました。友呂岐での最後の文化祭が、最高の形で終わることができて本当に良かったです。大きな行事はもう残り卒業式しかありませんが、気持ちをきりかえて勉強に取り組みます。

